

2枚目の「提出前チェック表」も活用してください

心理学関係科目修得単位表

記入した日を書く

(記入日：平成 年 月 日)

基礎科目

領域	科目名	単位	学年	期間	内 容	担当者氏名・職名・他の教育機関 (No.)	基	副
a 心理学概論	心理学概論	4	3	通年	心理学の基礎について(認知・行動・記憶・思考・動機づけ・性格・発達等)	小西啓史教授	4	
	科目を修得した学年を記入する							
b 心理学研究法	心理測定法(STR)	4	3	通年	心理学の研究法及び各種測定法について	山崎浩一講師	4	
	授業内容を記入する ※記入例のとおりで構いません					小森めぐみ兼任講師 臼井東兼任講師		
c 心理学実験	心理学実験実習 (初級)	2	3	通年	ミララーリヤーの錯視・要求水準・偶発学習・SD法によるイメージ測定・系列位置効果等の実習	森田慎一郎准教授、松田文子兼任講師、齋藤千鶴兼任講師、茂木伸之兼任講師	2	
	心理学実験実習 (中級)	2	4	集中	修得年度がH24年度(2012)までの方 触2点閾の測定・パーソナルスペースの測定・鏡映描写・コミュニケーションにおける情報の変容の実習	山崎浩一講師、松田文子兼任講師、村上香奈兼任講師、鈴木宏幸兼任講師、埴田健司兼任講師	2	
	単位修得年度によって、期間、内容が異なります。				修得年度がH25年度(2013)以降の方 パーソナルスペースの測定・心理アセスメント・鏡映描写・コミュニケーションにおける情報の変容の実習			
修得単位数小計		12	単位		単位			

選択科目

領域	科目名	単位	学年	期間	内 容	担当者氏名・職名・他の教育機関 (No.)	基	副
d 知覚心理学 学習心理学	認知心理学	4	3	通年	記憶、知識、思考等認知システムについての学習	山崎浩一講師	4	
	学習心理学	4	3	通年	学習心理学の理論及び教育現場への応用について	山崎浩一講師	4	
e 生理心理学 比較心理学					★ 「心理測定法」「教育心理学」「人格心理学」について ★ 単位取得年度によっては、選択した学習方法を記入する必要がある場合があるので、 『心理学関係科目修得単位表 学習方法年度別一覧表』を参照の上記入する ※学会提出前に成績証明書の科目名と照合してください			
f 教育心理学 発達心理学	教育心理学 (ST)	4	3	通年	教育心理学の発達・学習・人格・教育・評価の分野における基礎について	森田慎一郎准教授	4	
	発達心理学	4	3	通年	生涯発達の視点及び社会との関係性を重視した発達の变化の科学的考察	山崎浩一講師	4	
g 臨床心理学 人格心理学	臨床心理学	4	3	通年	抑うつ・対人不安・妄想を通し臨床心理学の新しい流れ(認知行動アプローチ)を学ぶ	須田誠講師	4	
	パーソナリティ心理学	4	3	通年	個人差理解に必要なパーソナリティ(性格・人格)の考察及び測定法について	出野美那子講師	4	
h 社会心理学 産業心理学	社会心理学	4	3	通年	社会心理学における個人内過程・対人行動と人間関係・集団の分野についての考察	平田万理子兼任講師	4	
					★ 「人格心理学」「パーソナリティ心理学」について ★ どちらか自分が修得した方の科目名のみ記入する ※「パーソナリティ心理学」は「人格心理学」に代わって開講された科目です ※どちらの科目でも『単位』『期間』『内容』『基』欄は記入例のとおりで構いません			
修得単位数小計		28	単位		認定単位数小計 28 単位			

その他の科目

領域	科目名	単位	学年	期間	内 容	担当者氏名・職名・他の教育機関 (No.)	基	副
i 心理学関連科目 卒業論文 卒業研究					「卒業論文・卒業研究」欄は、履修者のみ記入 ※申請できる単位は、4単位になります			
	卒業論文・卒業研究	4	4	通年	論文のテーマ	指導教員名	4	
修得単位数小計		0	単位		認定単位数小計 0 単位			
修得単位数総計		40	単位		認定単位数総計 40 単位			

【注意】卒業研究履修者は
◆修得及び認定単位数の小計：4単位
◆修得及び認定単位数の総計：44単位となります

氏名・生年月日を記入し、押印する

ふりがな 申請者氏名	(印)	(西暦) 年 月 日生	男・女	①
証明者氏名 ※1	大学	学部	教授	② ※2
証明が得られない場合、その理由 ※2				

※1 欄(証明者氏名)は大学事務室で記入するため、何も書かないでください

※2 欄(他の教育機関名・証明が得られない場合、その理由)は記入不要です

★ 心理学関係科目修得単位表 提出前チェック表 ★

「心理学関係科目修得単位表」はあらかじめご自身で作成されたものを、事務室までお送りいただき、内容確認、承認の上で押印してお返ししています。（申込みは証明書発行手続）

ガイダンス（卒業後は本学ホームページ）の案内や、記入例をよく確認の上、作成してください。

また、**申請書類ですので、丁寧に記入するように心がけてください。**

事務室へ送る前に記入もれや記入間違いがないかを確認する際、このチェック表をご活用ください。

※事務室で修正を指摘することが多い例もご案内しています。

チェック内容	よくある間違い・注意事項・備考等
全 般	
☐ 記入もれがないか	記入日・ふりがなも忘れずに記入する
☐ 押印もれがないか（申請者氏名欄）	証明者氏名欄は押印しない
☐ 清書しているか	鉛筆書き不可。修正は修正液か訂正印で ※修正液での修正は日本心理学会に確認済
科 目 名 欄	
☐ 指定 11 科目を全て記入しているか	指定 11 科目は日本心理学会の確認済
☐ 指定 11 科目以外を記入していないか （卒業研究を除く）	指定 11 科目以外は記入しない ※日本心理学会の確認をとっていない科目は記入しない
☐ 記入場所（領域）を間違えていないか	記入例のと通りの場所に記入する
☐ 正式名称で記入しているか 必要な場合は学習方法を記入しているか ※成績証明書の記載と一致させる	科目名を略したり、漢字を間違えたりしていないか 学習方法記入の要不要は、学習方法年度別一覧表を参照して記入するか、成績証明書のとおりに記入する
単 位 欄	
☐ 記入もれがないか	修得単位数小計・総計（計 3 ヶ所）も全て記入する
期 間 欄	
☐ 心理学実験実習（中級）の期間を正しく記入しているか	平成 24 年度までに修得された方は「集中」、平成 25 年度以降に修得された方は「通年」と記入する※その他の科目は全て「通年」
学 年 欄	
☐ 単位修得年度の学年を記入しているか	卒業留年次は「4」 ※科目等（優先枠）在籍時に「心理学概論」を修得し、3 年次編入した場合は「3」（編入時に単位認定しているため）
内 容 欄	
☐ 全科目について記入しているか ※記入例をそのまま書き写してよい	複数行にわたって記入、欄外の記入も可 ※欄外の場合どの科目の記載が分かるよう、線で区切る、矢印で示す等する
担 当 者 氏 名 ・ 職 名 欄	
☐ 単位修得年度の教員名・職名になっているか	心理学関係科目担当教員一覧を参照する
☐ 教員名の漢字を間違えたり、略字にしたりしていないか	例：「斉藤× → 齊藤○」「万里子× → 万理子○」 「松村× → 村松○」「植田× → 埴田○」
☐ 職名を省略していないか	各教員名の後にそれぞれ職名を記入する。欄外の記入も可 ※同じ職名でもまとめて最後に記入するのは不可 ※欄外の場合どの科目の記載が分かるよう、線で区切る、矢印で示す等する
「基」 欄	
☐ 記入もれがないか	認定単位数小計・総計（計 3 ヶ所）も全て記入する